

奈良県総合リハビリテーションセンターの現状と課題について

1. 県総合リハビリテーションセンターの概要

①県総合リハビリテーションセンターについて

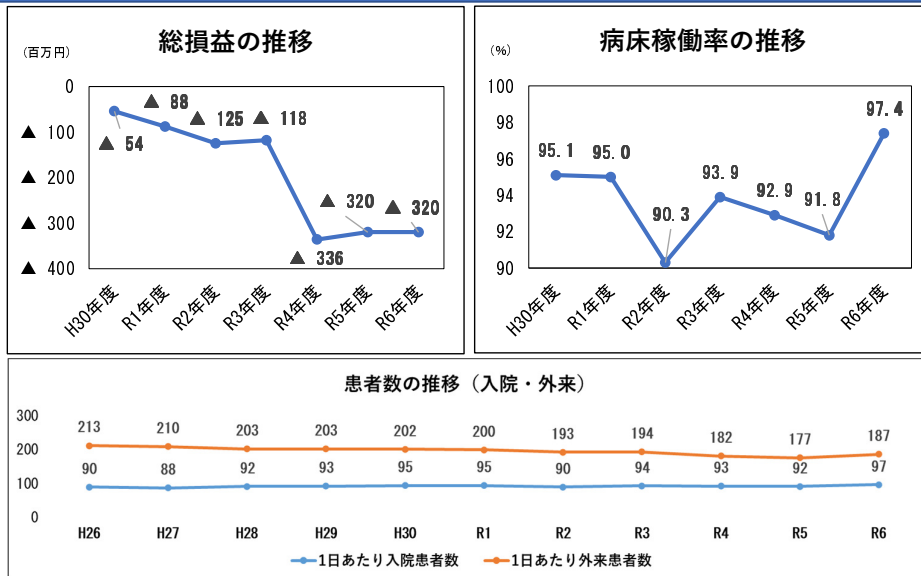
設 立：昭和63年
設置主体：奈良県

- 昭和63年6月、旧奈良県心身障害者リハビリテーションセンターが、奈良県の回復期医療・福祉の拠点として開設される。
- 平成18年4月に奈良県総合リハビリテーションセンターと改称され、平成26年4月に、病院部門が地方独立行政法人奈良県立病院機構へ移行し、現在に至る。

②県総合リハビリテーションセンターの機能と体制 ※令和7年11月1日時点

【診療科】内科、脳神経内科、小児科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、リハビリテーション科
【病床数】100床（回復期リハビリテーション病棟）
【職員数】医師：11名（内科：2名、脳神経外科：2名、整形外科：4名、精神科：1名、小児科：2名）、看護師：65名、理学療法士：35名、作業療法士：32名、言語聴覚士：10名、薬剤師：4名、事務その他：59名 **合計：216名**

2. 県総合リハビリテーションセンターの経営状況



- コロナ禍後、収益が悪化し、令和6年度決算では、総損益▲320百万円。
- 令和6年度病床稼働率は、前年の91.8%から5.6%増加し、97.4%。
- 令和6年度の1日あたり入院患者数は、病院機構移行直後の平成26年度と比べ約7.8%の増加、外来患者数は約12.2%の減少。

3. 県総合リハビリテーションセンターの医療提供状況（令和6年度）

	入院	外来
患者数	626人	45,372人
診療科別 ※入院は実数 ※外来は延べ数	整形外科：367人 脳神経内科：150人 内科：109人	小児科：14,508人 整形外科：14,432人 精神科：5,617人 内科：3,555人 脳神経内科：2,688人 耳鼻咽喉科：1,764人 泌尿器科：1,083人 小児整形：741人 眼科：479人 放射線科：417人 リハビリテーション科：88人
	[疾患別] 脳梗塞：124人 大腿骨骨折：65人 脳内出血：59人 股関節症（股関節部の関節症）：39人 腰椎及び骨盤の骨折：35人 膝関節症：34人 肋骨、胸骨及び胸椎骨折：23人 下腿の骨折（足首を含む）：16人 その他：231人（整形外科：155人、脳神経内科：42人、内科：34人）	[初診・再診別] 初診：2,602人 （①小児科：770人、②整形外科：742人、③放射線科：388人、④その他：702人） 再診：42,770人 （①小児科：13,738人、②整形外科：13,690人、③精神科：5,386人、④その他：9,956人）
住所地 （県内上位3市町村） ※月ごとの延べ人数	県内：1,683人 ①田原本町：301人（17.9%） ②橿原市：231人（13.7%） ③大和高田市：202人（12%） ④その他：949人（56.4%）	県内：30,081人（うち小児科：11,226人、小児科以外：18,855人） 全 体 ①田原本町：5,666人（18.8%） ②橿原市：5,044人（16.8%） ③大和郡山市：2,157人（7.2%） ④その他：17,214人（57.2%） 小児科 ①橿原市：1,772人（15.8%） ②大和郡山市：1,578人（14.1%） ③天理市：1,021人（9.1%） ④その他：6,855人（61.0%） 小児科以外 ①田原本町：4,815人（25.5%） ②橿原市：3,272人（17.4%） ③桜井市：1,098人（5.8%） ④その他：9,670人（57.2%）
職員数 （令和7年11月1日時点）	医 師：7人（うち兼務7人） 看護師：55人（うち兼務12人） 理学療法士：31人（うち兼務3人） 作業療法士：22人（うち兼務0人） 言語聴覚士：6人（うち兼務1人） 薬剤師：4人（うち兼務4人） 事務その他：52人（うち兼務34人）	医 師：11人（うち兼務7人） 看護師：22人（うち兼務12人） 理学療法士：7人（うち兼務3人） 作業療法士：10人（うち兼務0人） 言語聴覚士：5人（うち兼務1人） 薬剤師：4人（うち兼務4人） 事務その他：39人（うち兼務34人）

- 入院患者のうち、整形外科が約6割であり、内科と脳神経内科がそれぞれ約2割。
- 外来患者のうち、小児科・精神科の合計が4割以上であり、整形外科が約3割。また、初診患者が約6%、再診患者が約94%。

4. 県総合リハビリテーションセンターを巡る状況

①回復期リハビリテーションの提供状況（県内）

回復期リハビリテーション病棟入院料1

病院名	所在地（医療圏）	開設年	病床数	病床稼働率
社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院	奈良市（奈良）	S22	38	86%
医療法人せいわ会 登美ヶ丘リハビリテーション病院	奈良市（奈良）	H26	122	100%
医療法人岡谷会 おかたに病院	奈良市（奈良）	S42	50	97%
ならまちリハビリテーション病院	奈良市（奈良）	R2	108	102%
医療法人新生会総合病院 高の原中央病院	奈良市（奈良）	S57	50	101%
社会医療法人高清水 高井病院	天理市（東和）	S56	51	85%
医療法人社岡岡田会 山の辺病院	桜井市（東和）	S58	49	85%
奈良県総合リハビリテーションセンター	田原本町（東和）	S63	50	94%
社会医療法人田北会 田北病院	大和郡山市（西和）	S26	44	90%
医療法人和幸会 阪奈中央病院	生駒市（西和）	S53	42	89%
医療法人社団松下会 東生駒病院	生駒市（西和）	S60	62	85%
医療法人友誼会 西大和リハビリテーション病院	上牧町（西和）	H16	122	85%
平成まほろば病院	橿原市（中和）	H26	103	93%
社会医療法人 平成記念会 平成記念病院	橿原市（中和）	H5	90	98%

回復期リハビリテーション病棟入院料3

病院名	所在地（医療圏）	開設年	病床数	病床稼働率
博愛会松倉病院	奈良市（奈良）	S30	32	93%
奈良県総合リハビリテーションセンター	田原本町（東和）	S63	24	100%
社会医療法人田北会 田北病院	大和郡山市（西和）	S26	44	84%
南和広域医療企業団南奈良総合医療センター	大淀町（南和）	H28	36	99%

（令和6年度病床機能報告より）

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1～5を算定している病床数は、平成28年度は1,102床だったが、令和6年度は1,241床と、9年間で139床増加。
- 県内で回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定している病院の病床稼働率の平均は90.6%であり、リハビリテーションセンターが属する東和医療圏の3つの病院の中では、唯一、平均を上回っている。
- 県内で回復期リハビリテーション病棟入院料3を算定している病院の病床稼働率の平均は90.7%であり、平均を上回っている。

②地域医療構想の進展

- 地域医療構想では、病院間の役割分担と連携を進めることとしている。
- 県総合リハビリテーションセンターにおける、地域の病院との役割分担については、
・入院部門
▶高度急性期、急性期病院での治療後、早期に受入れを行い、入院リハビリテーション（脳血管疾患、運動器、廃用症候群等）を提供する。
・外来部門
▶地域医療の必要性を精査し整理を進める。
小児発達外来、児童精神外来については、需要に対して供給が追いついていない状況にあるため、診察後、必要に応じて専門的なリハビリの実施や地域の療育機関と連携することにより、医療、療育双方による発達促進が実施できるよう務める。

③県内急性期病院からの回復期リハビリ患者の転院状況（令和6年度実績）

奈良県立医科大学附属病院からの転院先

	紹介先病院名	患者数	割合	所在地（医療圏）
1	奈良県総合リハビリテーションセンター	156	23%	田原本町（東和）
2	平成まほろば病院	131	20%	橿原市（中和）
3	平成記念病院	129	19%	橿原市（中和）
4	南奈良総合医療センター	61	9%	大淀町（南和）
5	ならまちリハビリテーション病院	42	6%	奈良市（奈良）

奈良県総合医療センターからの転院先

	紹介先病院名	患者数	割合	所在地（医療圏）
1	登美ヶ丘リハビリテーション病院	201	39%	奈良市（奈良）
2	ならまちリハビリテーション病院	121	23%	奈良市（奈良）
3	奈良セントラル病院	32	6%	奈良市（奈良）
4	田北病院	30	6%	大和郡山市（西和）
5	高の原中央病院	25	5%	奈良市（奈良）
10	奈良県総合リハビリテーションセンター	10	2%	田原本町（東和）

奈良県西和医療センターからの転院先

	紹介先病院名	患者数	割合	所在地（医療圏）
1	西大和リハビリテーション病院	131	62%	上牧町（西和）
2	奈良県総合リハビリテーションセンター	35	17%	田原本町（東和）
3	東生駒病院	10	5%	生駒市（西和）
4	奈良セントラル病院	5	2%	奈良市（奈良）
5	田北病院	5	2%	大和郡山市（西和）

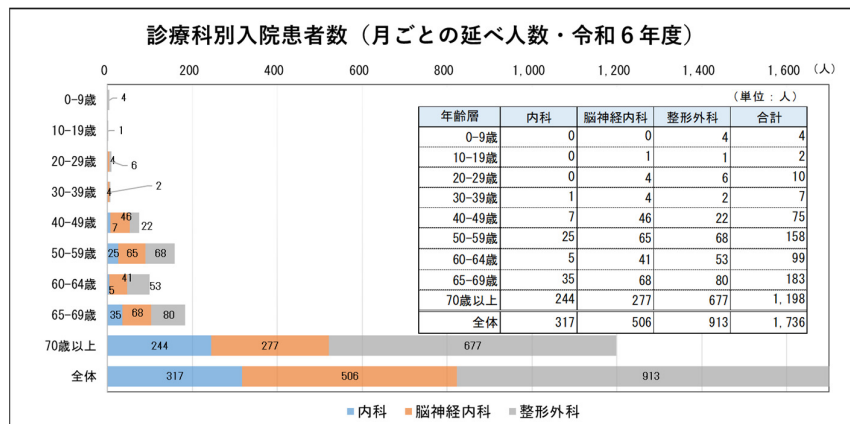
④県総合リハビリテーションセンターの施設等の状況

- 開設以降40年近くが経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後、維持管理費の増加や、大規模改修の必要性が見込まれる。

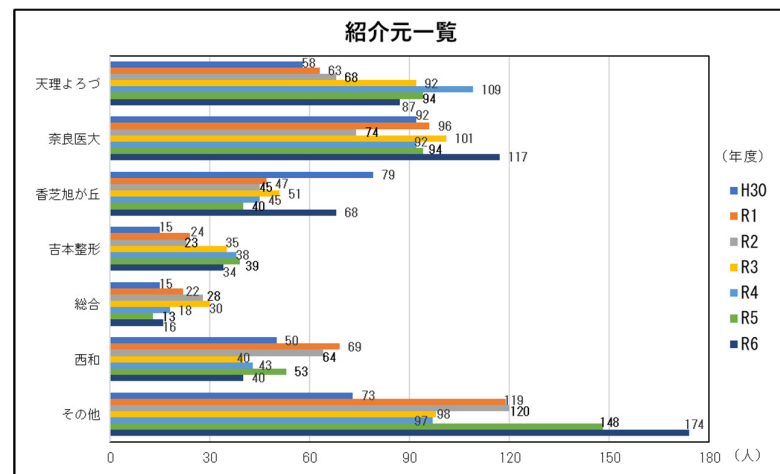
5. 県総合リハビリテーションセンターの課題

①入院医療提供状況

- リハビリテーションが必要となる患者が中心。
- 脳梗塞、脳内出血をはじめとする脳血管障害の患者が最も多く、次いで、高齢者を中心とした大腿骨頸部骨折や、股関節症の患者が多い。
- 民間の回復期病床で受けることが困難な切断、脊髄損傷、頸椎損傷等の患者も、少数ではあるが、受け入れている。
- 脳性麻痺などの障害を持った患者についても、少数ではあるが、二次障害に留意しながら手術を行っている。



▶令和6年度における、県総合リハビリテーションセンターへの紹介元病院は、奈良医大117人、天理よろづ87人、香芝旭が丘68人、西和40人、吉本整形34人、総合16人、その他174人となっている。



※提供元が行っているため、県内急性期病院からの回復期リハビリ患者の転院状況（P.2）と数値が異なります。

②外来医療提供状況

- 各診療科の診療状況については、以下の表のとおり。
- 小児科・精神科における発達障害の診断について、予約が取りにくい状況となっていることから、県として以下の①～③の取組を実施。
 - ①乳幼児健診による市町村からの紹介（※）が分散されるよう、県総合リハビリテーションセンター以外の医療機関に対し調整。
※全体の6割を県総合リハビリテーションセンターが受けている（R6実績）
 - ②他の医療機関にも発達障害の診断を行ってもらうため、小児科医を対象とした発達障害の診察に関する研修会を実施。
 - ③医療機関間での情報共有を図るため、「発達障害診療情報共有ツール」を作成。併せて、同ツールの周知、普及を目的とした県内医療機関等を対象とする研修会を実施予定。

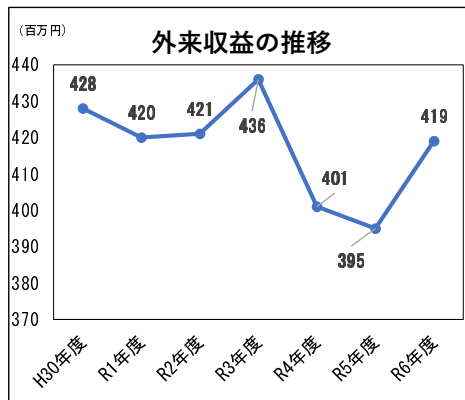
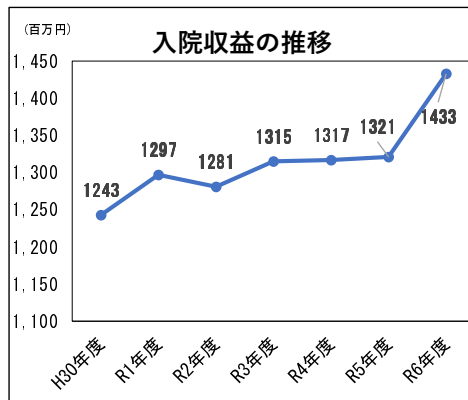
▶各診療科の外来診療状況について

診療科	主な診療内容
内科	一般内科、検診、加齢に伴う症状など
脳神経内科	パーキンソン等の神経難病、若年性の脳機能障害など
小児科 （※障害に特化）	発達障害、肢体不自由など
整形外科 （※小児整形は障害に特化）	地域の高齢者の一般整形が中心（脊椎損傷患者の褥瘡対策も実施）
泌尿器科 （※障害に特化）	脊髄損傷等に伴う排尿機能障害など
眼科 （※障害に特化）	小児の斜視、弱視が中心
耳鼻咽喉科 （※障害に特化）	小児の難聴、吃音が中心
精神科 （※小児に特化）	発達障害、知的障害児の情緒面・行動面の問題への対応相談など
放射線科	C T、M R I等の検査
リハビリテーション科	リハビリテーション前診察

③今後の検討課題

- 今後30年を見据えた、人口構造や疾患の変化を踏まえた公立病院としての県総合リハビリテーションセンターの今後のあり方。
- 県障害者総合支援センターと一体となった施設であることを踏まえた、今後の両センターの連携のあり方。

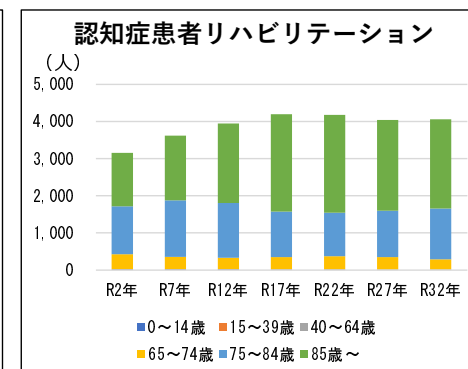
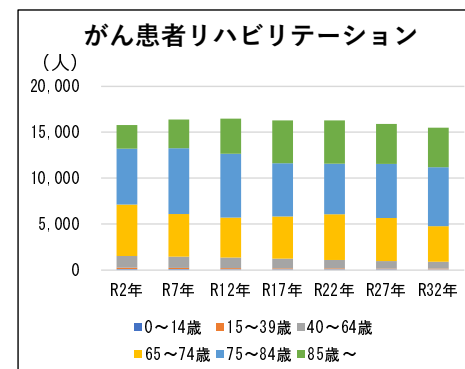
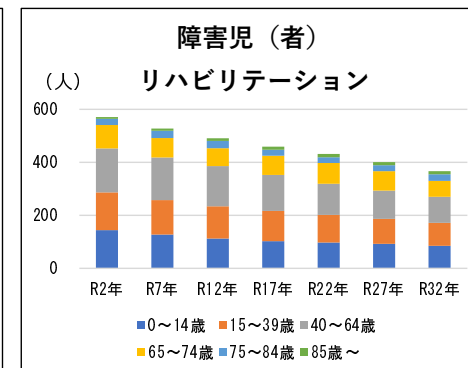
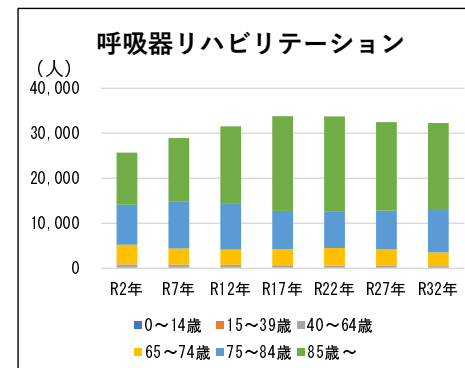
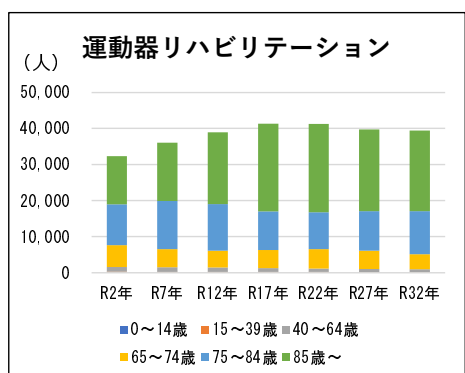
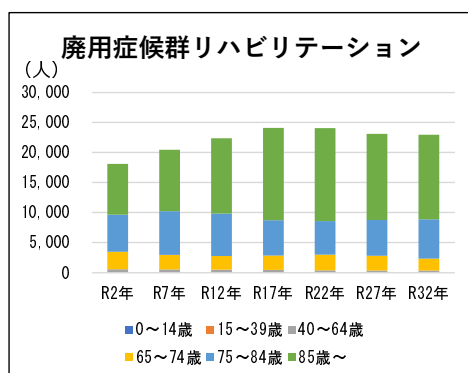
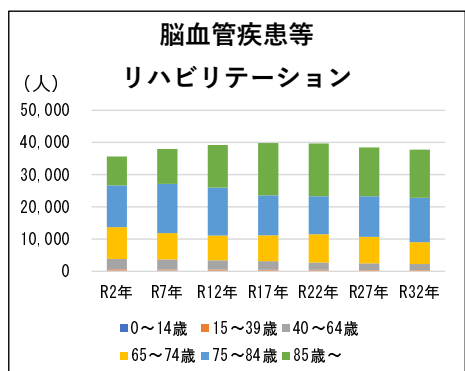
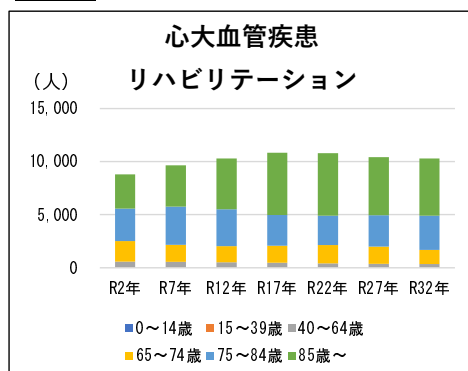
参考：入院収益、外来収益の推移



参考：令和32年（2050年）までの奈良県における受療予測

①入院

※R2年は実績、R7年以降は予測



○受療予測の考え方：

令和5年度入院のレセプト算定回数（奈良県/全国で按分） / 奈良県人口（令和5年10月時点）
× 奈良県の将来人口

○出典：令和5年度のレセプト情報及び令和4年度の特健診情報（厚生労働省）

奈良県推計人口年報（統計表）令和6年1月（奈良県）

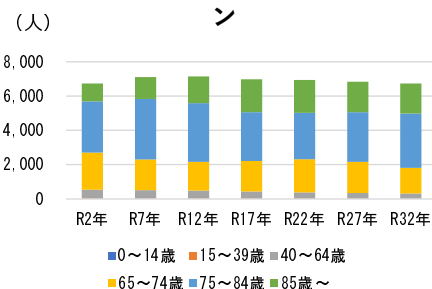
将来の地域別男女5歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

参考：令和32年（2050年）までの奈良県における受療予測

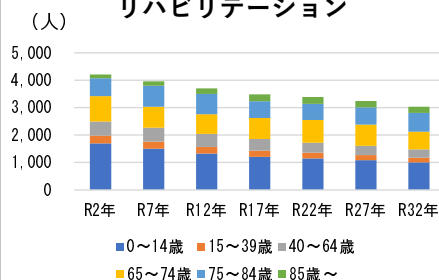
②外来

※R2年は実績、R7年以降は予測

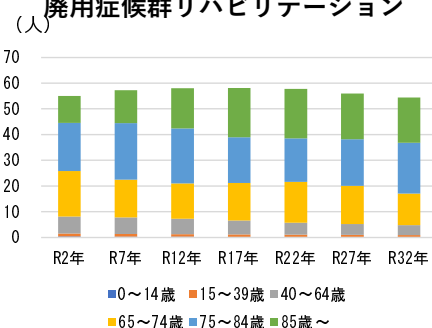
心臓血管疾患リハビリテーション



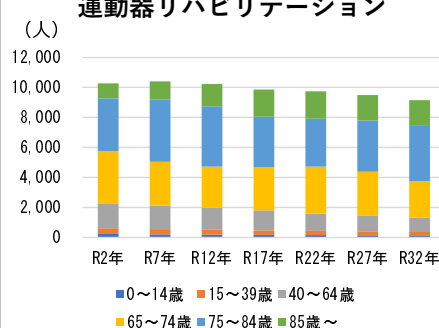
脳血管疾患等 リハビリテーション



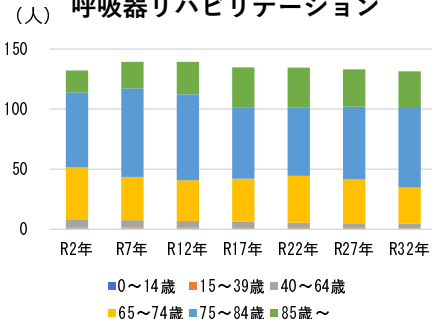
廃用症候群リハビリテーション



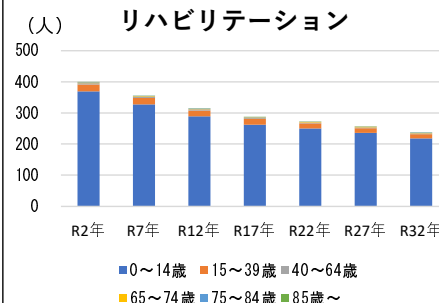
運動器リハビリテーション



呼吸器リハビリテーション



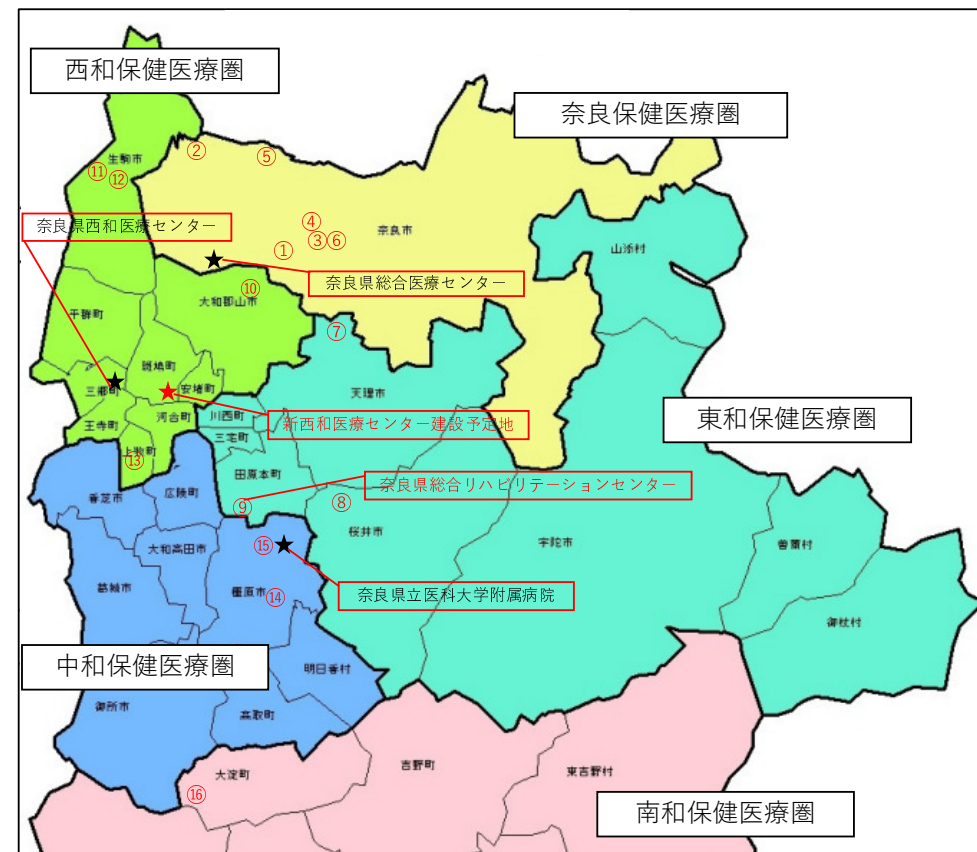
障害児（者） リハビリテーション



○受療予測の考え方：
令和5年度外来のレセプト算定回数（奈良県/全国で按分） / 奈良県人口（令和5年10月時点）
× 奈良県の将来人口

○出典：令和5年度のレセプト情報及び令和4年度の特健診情報（厚生労働省）
奈良県推計人口年報（統計表）令和6年1月（奈良県）
将来の地域別男女5歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

参考：県内回復リハビリテーション病棟 位置図



回復リハビリテーション病棟入院料1・3を算定している病院

番号	病院名	所在地（医療圏）
①	社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院	奈良市（奈良）
②	医療法人せいわ会 登美ヶ丘リハビリテーション病院	奈良市（奈良）
③	医療法人岡谷会 おかたに病院	奈良市（奈良）
④	ならまちリハビリテーション病院	奈良市（奈良）
⑤	医療法人新生活会総合病院 高の原中央病院	奈良市（奈良）
⑥	博愛会松倉病院	奈良市（奈良）
⑦	社会医療法人高清水 高井病院	天理市（東和）
⑧	医療法人社団岡田会 山の辺病院	桜井市（東和）
⑨	奈良県総合リハビリテーションセンター	田原本町（東和）
⑩	社会医療法人田北会 田北病院	大和郡山市（西和）
⑪	医療法人和幸会 阪奈中央病院	生駒市（西和）
⑫	医療法人社団松下会 東生駒病院	生駒市（西和）
⑬	医療法人友誼会 西大和リハビリテーション病院	上牧町（西和）
⑭	平成まほろば病院	橿原市（中和）
⑮	社会医療法人 平成記念会 平成記念病院	橿原市（中和）
⑯	南和広域医療企業団南奈良総合医療センター	大淀町（南和）

参考：令和6年度 手術実施患者疾患別件数（入院）

疾患名	件数
股関節症〔股関節部の関節症〕	32
大腿骨骨折	11
膝関節症〔膝の関節症〕	9
下腿の骨折，足首を含む	8
肩及び上腕の骨折	5
前腕の骨折	5
その他の脊椎障害	4
手首及び手の骨折	3
その他の椎間板障害	3
上肢の単ニューロパチ＜シ＞ー	3
多発性関節症	2
膝の関節及び靱帯の脱臼，捻挫及びストレイン	2
その他の変形性脊柱障害	2
骨髄炎	2
化膿性関節炎	2
足の先天(性)変形	1
肩甲＜上肢＞帯の関節及び靱帯の脱臼，捻挫及びストレイン	1
脳性麻痺	1
脊椎症	1
くも膜下出血	1
骨の癒合障害	1
頸部の神経及び脊髄の損傷	1
足の骨折，足首を除く	1
肋骨，胸骨及び胸椎骨折	1
下腿の筋及び腱の損傷	1
胸部＜郭＞の神経及び脊髄の損傷	1
腰椎及び骨盤の骨折	1
骨え＜壊＞死	1
合 計	106